～たすけ合い・ささえ合い・おらほの宝～

おたがいさま

【登米市生活支援体制整備事業広報誌】

特　集

地域に広がる集いの場！

～健康長寿には“社会参加”が最も大事！集う！つながる！支え合う！～

第三期モデル事業応募団体募集！（裏面）

健康づくりは、地域づくりの第一歩！

去る５月３１日木曜日、豊里町の平筒沼農村文化自然学習館を会場に『健康づくり研修会』を開催しました。グラウンドゴルフを楽しむ人たちのそばでは、主に豊里町内で活動をしている方々の出品スペース「青空マーケット」で買い物をする人たち…。社協では地域の皆さんと一緒に地域を元気にしていく取り組みに力を入れています。

No.5

生活支援体制整備事業

豊里・津山圏域

～人と人とをつなぐ～

ゆいっこ

地域づくりの主役は地域住民!!

主催：登米市社会福祉協議会豊里支所

▲青空マーケットは大繁盛♪

▲ハーバリウムも大人気♪ステキな作品が完成。

今年度初の試みとして、地区委員さんと生活支援体制整備事業の協議体委員の皆さんと一緒に「健康づくり研修会」を開催しました。

その中身は…「グラウンドゴルフ大会」と、豊里に住んでいる皆さんが主役となる場「青空マーケット」です。青空マーケットは、手作り手芸品などの販売がメインで得意なことを披露する絶好の機会になりました。

委員の皆さんや豊里町グラウンドゴルフ協会の皆さんには、準備から片付けまでたくさんの協力をいただき、地域の支え合いの大切さを実感できた一日でした。今後も社協では、地域の皆さんと一緒に地域を盛りあげていければと考えています。ありがとうございました。

▲スタンプの数だけ引ける千本引き♪

住民も専門職も一緒に集う場

豊里町：福祉関係事業所

▲「みんなの家」職員の皆さんによる寸劇は大好評でした。

豊里町内の福祉関係事業所が連携し、認知症カフェを年6回開催しています。

認知症のご本人やご家族、地域住民の方や認知症に関心のある方、福祉・医療の専門職等、誰でも気軽に集まり、楽しい時間を過ごしながら情報交換をする場になっています。今年度1回目の認知症カフェとよさとを5月10日に開催し、参加者の皆さんと楽しい時間を過ごしました。

～今後の予定～

平成30年　7月19日　9月20日　11月8日

平成31年　1月10日　3月14日

※午前10時～　会場：豊里多目的研修センター

津山町には誰でも寄れる集いの場がたくさんあります。

何かを始めるきっかけづくりのお手伝い

主催：登米市社会福祉協議会津山支所

5月29日（火）に行われた『ゆいっこ茶屋』（会場：津山公民館）は、童謡や歌謡曲をみんなで一緒に歌えればと思い…石巻などの被災地を中心にボランティア活動をしている梨木あきらさんに来ていただきました。歌う事は認知症予防、高血圧にも効果があるそうです。

今後もゆいっこ茶屋では、趣味活動などにつながるような内容を計画し、地域の集いの場を増やしていければと思っています。

◆次回のゆいっこ茶屋は…

7月31日（火）午前10時～津山公民館です。

▲あきらさんの演奏に合わせて踊るみなとアロハさん

一緒にお茶っこタイムしましょう

津山町：カフェパルフェタムール

▲男性も一緒にお茶っこタイムしませんか？

津山公民館図書室（毎月第2月曜日）と津山老人福祉センター（毎月第4月曜日）を会場に午前10時～12時まで温かいコーヒーとお茶、そしてお菓子を準備して待っています。参加費は100円です。

◇津山公民館◇

7月9日・9月10日・11月12日・12月10日・3月11日

（8月・10月・1～2月休み）

◆津山老人福祉センター◆

7月23日・8月27日・10月22日・11月26日・3月25日

（9月・12月～2月休み）

※天候等によって変更、中止の場合もあります

小さなお茶のみ場「にこっとすっぺ～す」

毎月第2・第4土曜日の午前10時～横山8区の西條ゆり子さん宅で行っている『にこっとすっぺ～す』。一人でも二人でも…小さな子ども連れでも…どうぞ気軽にお越しください。

7月14日は布ぞうり作りを行う予定です。

※材料・持ち物不要

◇今後の予定◇

7月14日・28日

8月は休み・

9月　8日・22日

10月13日・27日

▲この日はあんﾛｰﾙ＆ﾁｰｽﾞﾛｰﾙでお出迎え

家から一歩でも“歩かす（アルカス）”

毎月第2・第4土曜日の午前10時～カフェカネキでは…歩いて来ることのできる範囲の一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方を対象にお茶のみをしています。特に男性の方の参加をお待ちしています。

生活支援体制整備事業
登米・東和圏域

～明日も元気で～

おみようにち♥

集い方はいろいろあれど 互いに 支え合い 助け合い

楽しみづくりが元気の秘訣！　登米町：ばぁ～ばの会

▲夢はみんなで作品展！！

この会は 40 年位前から続く、歴史ある集まりです。当初は忙しく年に1～2回の開催でしたが、現在は毎月参加者のお宅に集まり縫い物、編み物、折り紙などの制作に幅広く取組んでいます。会費は、材料費とおやつ代を含めて 300 円。時には地元野菜で美味しい“登米はっと”をご馳走になることもあるそうです。

活動を長く続ける秘訣は、買出しなどの役割分担と仲間とのおしゃべりを楽しみ、大笑いする事と話されています。みんなの夢は作品展とのこと。お互いが支え合い、介護予防にもつながる活動を自分の住む地域で楽しまれている皆さんです。

ロコモ体操で健康増進！　登米町：新町ロコモ体操

開催のきっかけは5年前、保健推進委員研修で受けた『ロコモ体操』がとても評判良く、町内会の総会で実施が提案されたのが始まりだそうです。毎月第2・第4土曜日にみんなで集まり『ロコモ体操』と『レインボー体操』に取組み、健康維持に励んでいます。「介護疲れで大変だったが、心のリフレッシュにもなり元気になった。」「終わった後のお茶っこ会も楽しみ！」と大好評。手づくりの料理やお湯も持ち寄り、健康や食べ物の話題で大盛り上がり。

冗談を言いながら楽しく集い、健康増進に努めています。地域のつながりが地域の支え合いになっています。

▲健康への近道は、楽しむこと！！

集いの場は　仲間づくり･趣味づくり･社会参加に繋がります

若さの秘訣は、みんなと話すこと　　東和町：ふれあいサロン

▲みなさんの笑顔がとってもチャーミング！！

自称平均年齢80歳の元気な皆さんです。毎月第2･第4火曜日に米川公民館を会場に、手芸や運動、様々な季節の行事など楽しい集いの場を開いています。毎回美味しいお弁当を食べ、おしゃべりを楽しみ、皆さん和気あいあいと過ごされています。

「若さの秘訣はみんなと会って話すこと!」、「元気に人生 100 歳時代!」を目標にしている皆さんの笑顔が、とってもチャーミングでした。仲間づくりは社会参加の第1歩。元気に自分らしく楽しく暮らすには、地域の仲間との支え合いが大切です。

男性の集いの場!仲間づくり!趣味づくり!　　東和町：男愉(だんゆ)～会(かい)

男性が集う場･息抜きの場が少ないとの声から、“楽しみながら集う場”を、地域のみんなで作っています。健康麻雀･将棋･囲碁･花札など、ワクワクすることがいっぱいです。みんなでわいわい大笑い、歌も飛び出し和気あいあいの会です。「会話を楽しみながら、勝負の駆け引きもあり、脳も活性化する。」と楽しい時間を過ごしています。その中から、地域のつながり、支え合いの充実を図っています。

▲モットーは　楽しむ事！考える事！話す事！

男愉～会のご案内

◆米谷男愉～会（会場：米谷公民館）
毎月/第 1 水曜日・第 3 火曜日　9：30～

◇米川男愉～会（会場：米川公民館）
毎月/第 3 木曜日　9：30～

◆錦織男愉～会（会場：錦織公民館）
毎月/第 2・4 火曜日　13：30～

どなたでも参加OK

編集後記

４月から新任の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）として、沢山の方にお世話になりありがとうございます。取材を通して、集うことから楽しみを作りだし、元気に暮らす姿勢や、集まりが大切な地域の繋がりになり、地域の力になることを学びました。これから、どうぞ宜しくお願いいたします。

生活支援体制整備事業
中田・石越圏域

～支え合い～
かわりねすか

思いやり　世代を超えた　支え合い

「かわりねすか」　と　今日もまた

中田町：舟場行政区有志

▲足元に、春を感じながら歩く。心地よい風を頬にうけながら！

「おはようございます。かわりねがすか？」

ここ舟場行政区は、高齢化率が 50%を超え、登米市ナンバーワン。

地域内では多くの方が健康づくりのためにウォーキングを行っています。「ここにアサツキ生えているよ。」「またカモシカ出て来たね～。」心地よい川風を感じながら、北上川沿いの道をみんなで歩いて情報交換。

次のミニデイサービス開催時には、理学療法士さんから、「正しいウォーキングの仕方」を学ぶ企画も生まれたり、ミニデイ2回開催も視野にいれつつ、高齢化率が高いのは、“元気高齢者が多い”からだと感じた春の１日でした。

玄米ダンベルを通しての男性の集いの場

中田町：男前玄米ダンベルの会

社会参加機会の少ない男性自身の健康づくりと、地域の方々への伝達リーダー育成を目指し、“男前玄米ダンベルの会”が、5 月 29 日午後3時に初顔合わせがありました。

玄米ダンベル運動は、ウエイトトレーニングと異なり、筋肉に適度な刺激を与え、基礎代謝を高めます。地域のミニデイサービスにも好評で、どんどんと広がりをみせています。

午後3時開催は、終了後に「男同士で一杯どう？」という飲みニケーションへと繋がる期待も!?初回では、そちらの話に花も咲き･･･

玄米ダンベルがつなぐ男の集いの場からどんな効果が発信されるか、今後が楽しみです。

▲笑顔の中に汗がキラリ、「きく～！」

芦倉に交流の場「笑友家」オープン！　石越コミュニティ運営協議会

石越コミュニティ運営協議会では気軽に立ち寄りが出来る、多世代交流の場として、新たに『集いの場「笑友家」』を、芦倉地区に5月16日に開所しました。

当面は、月・火・水曜日のオープン。予約不要で自由に利用でき、コーヒーなどのお茶飲みを楽しむことができます。

サークル活動、ママ友の集い、お茶飲み会、イベントなど、使い方は皆さんしだい。運営には一部赤い羽根共同募金配分金が利用されています。地域おこし協力隊の小野寺さんが常駐してお待ちしております。お気軽に、ご相談・連絡ください。

【連絡先】
石越公民館　0228−34−2036
担当：小野寺　090−2951−1454

▲「この看板が見えたら、お気軽にお立ち寄りください」

幼稚園児に「防火教室」の勉強会　石越町：女性消防団団員

▲「火遊びはだめだよー」　ハーイ！

幼稚園児に火災予防の大切さを教えることを目的に、女性消防団員が「防災教室」を市内幼稚園でおこなわれました。

今回ナレーションを担当した、第４行政区高橋区長さんは、「子どもたちのキラキラした眼を見ると、私も元気がもらえます。今後の活動の励みにもなっています。小さな支えから無火災を祈り、これからも練習に励んでいきます。」と話されていました。

人形劇を見た子供たちは、「火あそびしません！」と大きな声で約束していました。

編集後記

はじめての、「おたがいさま」の編集。生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）として、はや２ヶ月（まだ２ヶ月？）。これまでに何人の方とお会いしたのであろうか。失礼なことはしていなかっただろうか？

あらためて「思いやり」を考えさせられる日々でした。私からあなたへ、あなたから近くにいるひと（家族・夫婦・恋人・隣人など）へ。そして、お互い「思いやり」をもって接するとそれがいつしか自分・あるいは愛する家族へ手が差し伸べられる時が来るのかな？と。（「情けは人のためならず」）

今、地域支え合い推進員として試行錯誤のなか、微力ながら少しずつ前へ進みます。

生活支援体制整備事業

米山・南方圏域

～人・心・地域をひとつに～

よつぺす

やればやるほど奥が深い

米山町： 登米（とよま）謡曲会米山支部

▲『高砂や～この浦船に帆を上げて～～♪♪』この日は祝いの席で謡われる「高砂」を聴かせていただきました。

毎週木曜日の夜7時から吉田公民館の二階で練習が行われています。月に一度は登米の「森舞台」へ出向き、5つの支部で行なわれる「月並会」にも参加。日頃の成果を確認しあい、9月に開催される「登米秋まつり」の宵祭である「薪能」の奉納に、地謡方として参加しているそうです。

平成 12 年に入会し 18 年間活動を続けているという代表の枡田徳次さんや佐々木啓さんによると、「やり始めるとなかなかあじがあり、奥の深さに引き込まれる」と言います。

現在会員は 3 名で少し寂しくもあり、ともに集える仲間を募集しています。

学んだこと地域に活かしたい

米山町：おはなしサークル「ふなっこ」

サークル（代表：千葉節子氏）結成 16 年目を迎え、会員は 60～70 代の 9 名です。平成 15 年中津山公民館で開催された、「おはなしボランティア講座」の受講生たちが、学んだことを地域に活かしたいとサークルを立ち上げました。

発足当初は紙芝居や手遊びなど、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に出前講座を実施していました。ここ数年はブックスタートで児童館や小学校へ出向く機会が増えてきています。活動を通して世代間交流が図れることで、自分たちにも良い刺激となっているそうです。

▲毎月、米山総合保健福祉センター内にある「カフェよっぺす」で定例会を開いています。

自分のペースで作品づくり

米山町：パッチワーク教室

▲第 1 を除いた月 3 回の金曜日の午後に開催。一人ひとり作っている作品が違うのもこの教室の特徴です。

米山公民館事業の受講生たちが、自主開催と形を変え活動を続けて 3 年になる教室（代表：新井とも子氏）です。

生徒は 14～15 人になるそうですが、働き盛りの皆さんのため、家の用事もあり、都合で参加したり、できなかったり…。それでも、「自分のペースで自分の作りたいものを作ることが一番の魅力だ。」と言われます。出来上がった作品はとても愛おしく、手元に置いておきたいとのこと。

お隣さんの作品をちょっとのぞき見しながら、ワイワイ・ガヤガヤ、楽しい制作時間を過ごしています。

見守り続ける通学路　　南方町：北本郷見守り隊

▲可愛いワンちゃんも見守りメンバー。浅野さんちの「ハッピー」は子ども達のアイドルです。

ここ北本郷の上ヶ戸では、10 年間も「見守り隊」が守り続けている通学路があります。現在は、老人クラブ会長を含めた 7 名の有志が中心となり、子ども達の下校時間に合わせて活動を行なっているとのこと。

当時から「見守り隊」として活動を続けている鎌田栄志さん、山田義光さん、浅野政枝さんに長続きの秘訣を伺うと、「毎日のことなので無理をせず、都合のつく人が見守りに当たっている。」とのことでした。今日も丸太のいすに腰掛けながら、元気な子どもたちの帰りを待っています。

夢がひろがるリメイク教室　　南方町：リメイク教室

昨年、南方公民館事業「リメイク教室」の受講をきっかけに、1 月から 4～5 人で活動を開始。基本着ることが無くなった着物を持ち寄り、生地の柄や素材を生かした作品を考えます。

好きなことに没頭できる制作時間は、アイデア次第で色々な作品が生まれることで、始まるとあっという間に時間が過ぎてしまうといいます。今後は同じ活動をしている方々との交流や、秋祭りの作品展示などを考えているそうです。

▲家庭にある材料で作品を作っています。針を持つとワクワクしてしまうという皆さんです。

まだまだ現役！　　南方町：裏大岳グラウンドゴルフ愛好会

▲「はい、チーズ！」笑顔が素敵な皆さんです。この中に 89 歳の方がおります。どの人か分かりますか？

金曜日の昼下がり、南方東郷運動広場でグラウンドゴルフに熱中している団体を発見。「裏大岳グラウンドゴルフ愛好会」の皆さんでした。代表の高橋仁一さんにお話を伺うと、「会を結成し 10 年目となり、69 歳～89 歳の会員の三分の二が 80 代。」とのことでした。

会員の皆さんが地域の絆を大事にしていることから、昔から会員全員が裏大岳の住人。「見守り・支え合い・助け合い」の息もぴったり「あうん」の呼吸で、とても和やかな雰囲気の愛好会の皆さんでした。

みなさんの集いの場です。お気軽にご利用下さい！

「カフェ」よっぺす

■米山総合保健福祉センターのロビーで

毎週：月・水・金曜日の 10：00～15：00 までオープン！

よっぺすカフェ みな♥みかた

■南方公民館のロビーで

毎月第 2 水曜日の 9：30～11：30 に開催していま～す！

生活支援体制整備事業
迫　圏　域

～地域支え愛～

おでってNet

交流と笑顔は地域の活力！

主催：登米市社会福祉協議会迫支所

4 月 24 日(金)、新田地区板橋集落センターを会場に、地域間交流・つながりづくりを目的に行きつけサロン「おでって」を開催しました。当日は、会場の板橋集落センター近隣の行政区から多くの方の参加があり、「数年ぶりに会ったね～」という声や、「昔 PTA 活動を一緒にしたね～」など、行政区の垣根を越えた久しぶりの再会で、大いに盛り上がりました。

迫圏域では、行きつけサロン「おでって」を年 6 回各地区で計画しています。社会参加は健康づくりへの第一歩！お近くで開催の際はみなさんお誘い合わせのうえ是非ご参加下さい！

▲「隣の地区には負けてられねっちゃ！」
笑いが絶えない、すこやか長寿ゲーム大会！

元気な高齢者の活動が、地域の要！

山ノ神行政区：和楽会

▲大好評だった東和町ほほえみエルダーでの踊りの披露

山ノ神和楽会は、地域のコミュニティ行事の推進を目的に結成された団体です。地区の花壇の管理や清掃をはじめ、様々な地区行事でも中心的な役割を担っています。子どもの数が減り、子ども会の活動が下火になった今、地域において高齢者の活動が地域の元気を支えています。

年間を通して、健康づくりのためにグラウンドゴルフや、持ち前の特技を活かしての福祉施設での踊りの披露なども積極的に行っています。会員のみなさんはお互いに支え合う関係を今後も育んでいきたいとうれしそうに話してくれています。

新たな交流の場で地域づくり・仲間づくり

平柳行政区：さくらの会

森地区平柳行政区のシニアサロン「さくらの会」は、平成 29 年から毎月 1 回のペースで開催しています。この会が立ち上がったことで、地区内の集いの場も増え、貴重な交流と情報交換の場が生まれています。そして、参加者が活躍できるような活動の展開も地域の中で少しずつ増えてきています。

参加者自らが考えた“健康を意識したプログラム”を組み入れることで、地域全体の介護予防にも一役買っています。

毎回、テーブルにたくさん並ぶ参加者の自慢の料理の数々も参加者の楽しみの1つとなっています。

▲体操の振り付けは参加者自らが考えました！

取材・編集・問合せ先：迫圏域担当 生活支援コーディネーター 高清水 智恵子（☎070-2011-0069）

みんなで支えよう！地域の暮らし

買い物支援協力店募集

登米市内では、買い物に行ける店舗が自宅付近になくなり不自由を感じている方、車を運転することができなくなったことにより買い物が困難になった方、あるいは重い荷物が持てないために、一度に少量しか購入できないなどの理由で日常の買い物が困難になった方々が年々増加しています。

そこで、日常の買い物に不便を感じている方々のために、登米市内において宅配・買い物代行・移動販売などの買い物支援に取り組む民間事業所や団体など、ご協力いただける店舗を一覧にまとめ、生活支援体制整備事業広報誌「おたがいさま（第6号）」（平成 30 年 11 月発行予定）に掲載致します。

掲載を希望される民間事業所や団体の皆様がおりましたら下記までご連絡下さい。

（掲載内容例）

※下記の店舗は実在しません。

店舗名　とめ商店　　登米市迫町北方字大洞 45-3

電話：０２２０-２１-６３１０　　ＦＡＸ：０２２０-２１-６３２０

●対象地域　　迫町内全域対応可能

○取扱商品　　食品、青果、飲料、調味料、日用品ほか、当店で扱う商品全て。

●注文方法　　電話：午前９時～午後４時　　ＦＡＸ：２４時間

○支払方法　　現金引換

●費　　用　　宅配の場合、商品代金の他に１回あたり３００円の配達料が掛かります。

○定 休 日　　毎週火曜日

※移動販売の場合は、下記の訪問先情報

●販 売 先　　毎週水曜日１０時～○○集会所前　毎週木曜日１０時～○○地区会館前

○そ の 他　　△名以上が集まる際は、移動販売車が訪問可能。要問合せ

移動販売を待つ間も…楽しいお茶飲み・交流の時間になっています！

ご協力いただける皆様は下記までご連絡をお願いします。

（登米市社会福祉協議会　本部　地域福祉課　☎　０２２０-２１-６３１０）

登米市生活支援体制整備事業第三期モデル活動指定事業

地域に広がる高齢者支援モデル事業

応募団体募集!!

募集期間:平成30年7月2日～8月31日まで

急速に社会全体の高齢化が進む中、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、公的サービスだけでなく、住民等のさまざまな主体が参加した多様な取り組みを充実させ、地域の支え合い体制づくりを強化していくことが重要です。

このことから、登米市社会福祉協議会では、“高齢者を中心とした多世代が地域のために行う活動”と、“支援を必要としている人が安心してくらしていけるよう支援する活動”を応援するため、モデル事業を行う団体に対し、その活動の一部を助成します。

対象事業

A型・・・「高齢者を中心とした多世代が地域のために行う活動」

いつまでも元気でハリのある生活を送るには、生きがいを持って活躍できるよう、社会参加を促進することが重要です。また、核家族化の進展により、子どもと高齢者の関わりも少なくなっています。そのため、高齢者を中心とした多世代が関わり、社会参加・生きがいづくりに繋がる活動をＡ型として実施します。

（例）地域内での子育て・預かり保育、子ども食堂、高齢者の就労支援等新しいビジネスモデル　など

B型・・・「高齢者の暮らしのために行う活動」

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、公的サービスだけでなく、地域住民を主体とした支え合いや、取り組みが重要となってきます。また、独居世帯・高齢世帯も増加する中、市内においても生活支援に対するニーズが高まっています。そのため、支援を必要な方へ支援する活動をＢ型として実施します。

（例）外出支援(通院・買い物・ミニデイ等)、買い物支援、配食支援、家事支援　など

応募資格

〇登米市内で活動しているNPO法人、ボランティア団体、地域コミュニティ組織、行政区など

事業指定期間

〇平成３０年１０月１日～平成３２年３月３１日まで（１年６ヶ月）

助成金額

〇助成総額８０万円。活動に要する経費のうち、１団体あたり２０万円を上限として助成します。

助成対象経費

〇交通費、研修研究費、食糧費など活動に要する経費。ただし、単なる金品の贈呈事業や、活動に無関係の備品購入費用は不可とします。

申請方法

〇詳細は実施要綱をお読みの上、指定の申請書類を登米市社会福祉協議会本部または各支所へご提出願います。

〇要綱・様式は、登米市社会福祉協議会本部及び各支所で配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。（問合せ・ホームページアドレスは下記）

指定決定

〇モデル事業指定の可否及び助成金額について、登米市生活支援体制整備事業第一層協議体でモデル事業審査要項及び、応募団体による事業説明（ヒアリング）により審査・選定します。

生活支援体制整備事業広報誌
おたがいさま
～たすけ合い・ささえ合い・おらほの宝～

第５号発行日　平成３０年７月２日
発行・編集　社会福祉法人登米市社会福祉協議会
〒987-0513　宮城県登米市迫町北方字大洞 45-3
（迫老人福祉センター内）
TEL：0220-21-6310　FAX：0220-34-6320
E-Mail：honbu@tome-shakyo.jp
ホームページ：http://www.tome-shakyo.jp